

手術

外来

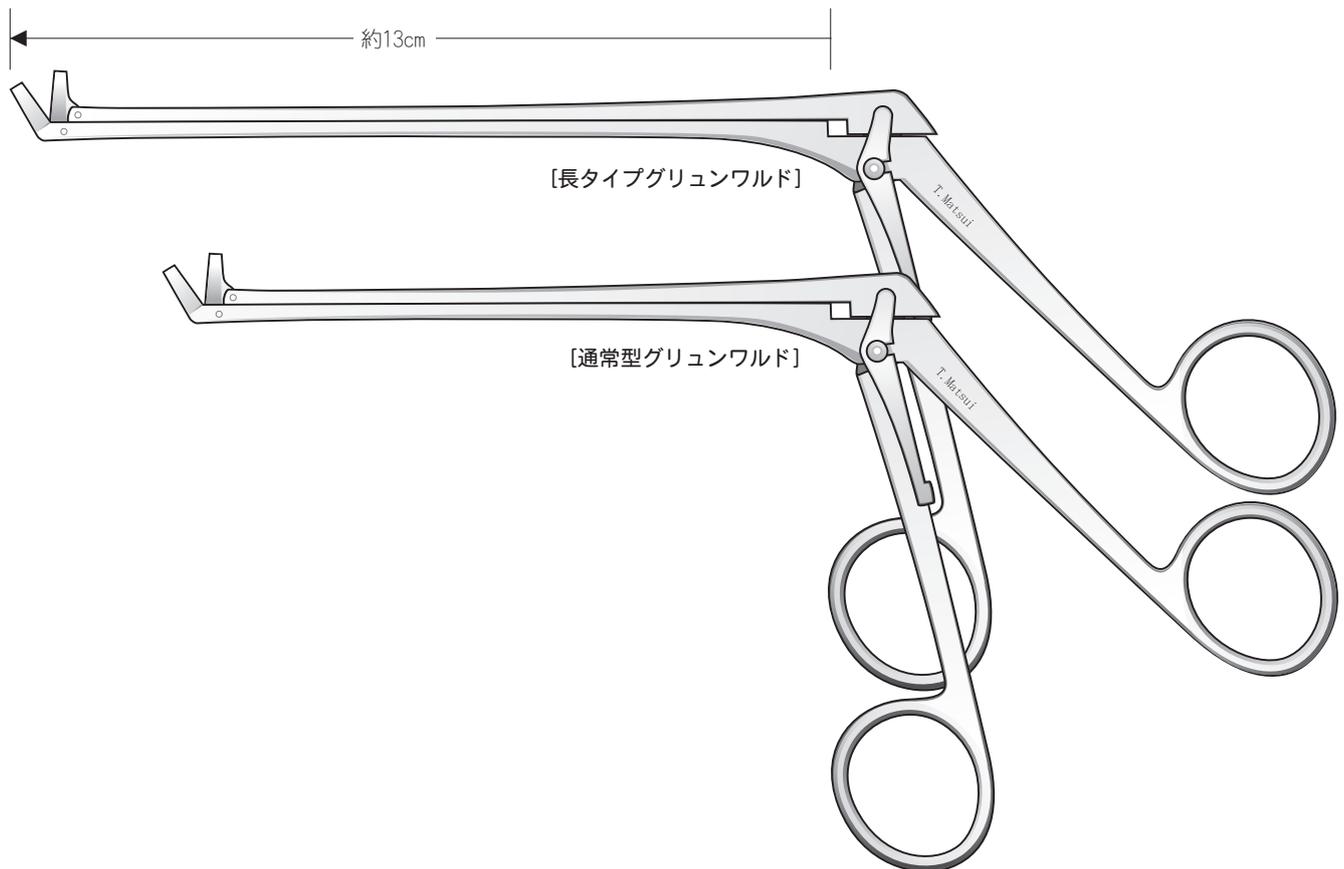
先端の図は原寸大

内視鏡下における副鼻腔手術の際に従来のグリュンワルド鉗子ではすこし長さが足りないという場合に用います。

通常型が有効長約10.5cmなのに対し長タイプは約13.0cmの有効長があります。

慈大式各種鉗子、西端氏各種鉗子、高橋良氏甲介後端鉗子と同等の長さにして有りますのでこれらの鉗子と一緒に使う場合、グリュンワルド長鉗子の方が術中の操作感覚が統一できるのがメリットです。

先端嘴サイズは通常グリュンワルドの(小)サイズと同じです。



●グリュンワルド長鋭匙鉗子

●先端嘴サイズは通常グリュンワルドの(小)サイズと同じです。



KA2G71 前開



KA2G76 上開



●グリュンワルド長截除鉗子

●先端嘴サイズは通常グリュンワルドの(小)サイズと同じです。



KA2G81 前開



KA2G86 上開

